

# 平成 23 年度 事業報告書

## 1. 平成23年度を省みて

平成 23 年度は、東日本の思いがけない災難と悲しみ、その上 不安と混迷に終始した年となり、私たちにとっても試練の年でした。

今日まで多くの困難がありました。先人の方々のご苦勞によりそれを乗り越え、20 年近く経過した老朽化による建物の破損修繕や全館 LED 電球の交換をはじめ、機器類関係も未だ修繕の必要など残ってはおりますが、お陰様で工事を実現終了することができました。

入館状況は、東日本大震災や不況の影響で厳しい状況が続いております。県観光振興課の発表によりますと、23 年度の県内観光客は前年比 8 % 減の 980 万人となったようです。当館の場合はわずかではありますが、何とか前年を上回る入館者が来られております。今一押しですが、教育目的の利用者も増え、徐々に入館者数は回復してきております。

継続事業 平成お天守塾 清明茶会は、対応出来る範囲内の茶券販売とし、東北の大震災に心がとどきます事を願い、テーマも「祈り」と題し、各席主の思いが込められた 優雅でしっとりとした会の流れとなりました。勝山城絵画作品展は勝山市わがまち魅力醸成事業の対象事業で、参加応募数も年々増え続け嬉しいこととございます。

メイン事業の特別展「大坂加番」は、大野・勝山に残る僅かな古文書と大阪城や宮内庁からお借りした資料写真以外は自作による展示パネルでした。それでもどうにか加番の実態を紹介できたようで、見学者によっては、何回か来られた方もあるほどでした。解説図録は東京からまとめて注文が入るほど評判も上々です。

マーク・エステル展を始めそれぞれの企画展も盛会のうちに終了する事ができました。

また、公益法人への移行、勝山市との連携の進捗状況は、現在のところ順調に進んでおります。特に連携につきましては、館を運営してまいります上で、今後絶対条件の一つと考えます。県の教育庁も連携の締結を是非にと薦めており、公益法人移行・勝山市との連携、共に来年度中には集結の見込みです。

尚、今年はいつになくマスコミ関係が、取材をしに駆けつけてくれたりして、年々繋がりが深くなるようです。より広報関係とのパイプを広げられたらと思います。

勝山城友の会も、会員やお城を愛してくださるの方々のお陰で、活発に楽しく活動がなされており、お城にとってなくてはならない存在であり、大きな支えでございます。「一人では何も出来ない」、人と人が支えあってこそであるという気持ちが私の中でより強くなってきております。

今後、20 周年にむけて、背伸びをするのではなく、ましてや手抜きをするのではなく、心に余裕をもって、いろいろな事に取り組んでまいりたいと考えております。

# (1) 入館者の状況

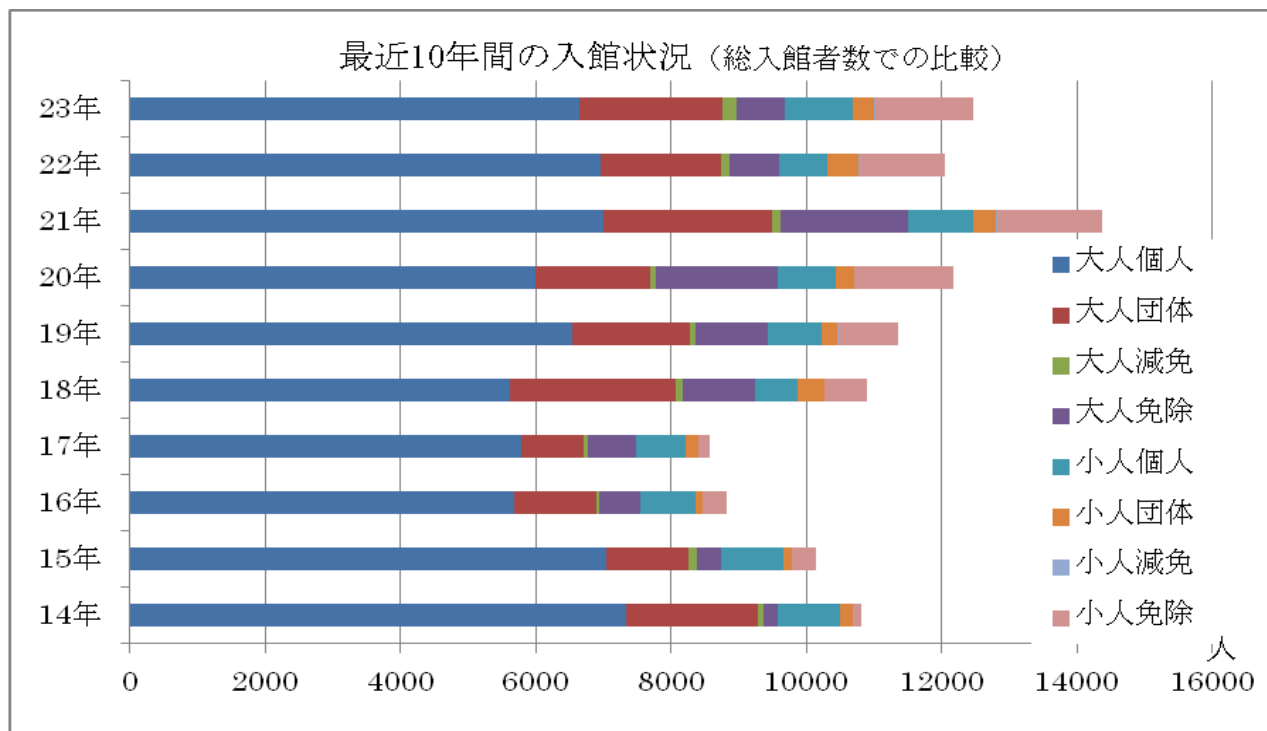
## 今年度入館状況

有 料 入 館 者 数				入館料 (円)
大 人	小 人 (小中高生)	減免者	合 計	
8,754 人	1,317 人	220 人	10,291 人	4,298,130 円

免 除 者 数				入館者総数	摘 要 その他は幼児、 障害者付添、友 の会員、イベン ト関係者等
児童・生徒	公務等	その他	合 計		
1,460 人	50 人	675 人	2,185 人	12,476 人	

- 開館日数 325 日
- 1 日平均の入館者数 38.4 人
- 平成 21 年度から 3 年連続で有料入館者 1 万人を超えることができました。前年度(入館者総数 12,058 人、有料入館者数 10,067 人)からは 2.2% 増とわずかにアップしましたが、入館料収入は目標の 450 万円には届きませんでした。

好調であった 21 年度と同じく引き続き地元密着の展示会や催しを展開し、マスコミ等への広報も強化することで入館者数の増加を図りましたが、東北大震災や不況による影響は厳しいものがあるようです。今後も厳しい状況が続くことは予想されますので、気を引き締めてかかる所存です。また、昨年激減した児童・生徒の教育課程での利用者数は一昨年(1,555 人)並みに回復してきました。博物館本来の教育目的での利用が増えることは喜ばしいことです。さらに利用されるように、それに見合うだけの展示内容の向上を目指したいと考えます。



## (2) 常設展・企画展等の実施状況

### ①常設展示

6階は展望台、勝山市街地を一望できます。

5階は展望台に加えて「平泉寺の歴史」「泰澄」をイラストでわかりやすく紹介しています。

4階は特設会場での勝山の歴史を紹介する「勝山の歩み」コーナー（特に平泉寺の発掘資料を中心に、白山平泉寺を詳しく展示）と同会場での特別展示、そして「中国刺繍室」があります。

3階は大名家の甲冑を中心に武具や合戦図屏風、小袖などを展示。刀剣の手入れや着物の入れ替えは定期的に行っています。

2階は今井俊満作障壁画「日本の四季」、左義長紹介コーナー、茶会や会議に利用される和室など。

1階は城の100分の1模型、建設時の記録、多田清翁の生涯など。

### ②金栄健介絵画展「白山の高山植物」 3/13—5/22

会 場 4階特設会場

期 間 今年度は4月1日～5月22日まで46日間

水曜休館、期間中総入館者数2,978人

#### 【絵画展入館料収入】

大人 414人×500円=207,000円

小人 46人×200円=9,200円

図録販売 43冊×500円=21,500円

主 旨 北陸を代表するボタニカルアーティスト画家金栄健介氏の「白山の高山植物」展を開催しました。白山は日本三名山の一つであり、古代からの山岳信仰「白山信仰」の生まれた聖地でもあります。その白山への越前側からの修行道「越前禅定道」の入口白山平泉寺遺跡の近くにある当館で、白山の高山植物を驚異の画技で描いた金栄氏の素晴らしい作品を勝山市民、ひいては福井県民にも鑑賞してもらいたいという理由で開催しました。また、この展覧会を通して自然の良さ・環境の大切さを見直していただけたなら幸甚です。

金栄氏の植物細密写生画は郵便切手に採用された他、各地の美術館でも展覧会が催され、新聞各紙にも連載されるなど近年注目を浴びています。中でも「白山の高山植物」シリーズは、ボタニカルアーティストを標榜する氏の代表作でもあります。

金栄先生のボタニカルアートもかなり定着したファンが増えつつあり、この展示会を目当てに来られた方も多数いらっしゃいました。また、白山平泉寺のお膝元にある博物館として、白山の植物も取り上げ、総合的に白山信仰をとらえる一助となっています。



震災と重なったために、いろいろな催しの自粛ムードが高まり、マスコミ等に報道を依頼しづらくなったことがやや入館者数に影響したかと思われます。

### ③平成お天守塾第5回勝山城清明茶会

会 場 2階ホール、和室「蘭月の間」、北庭園東屋

期 日 4月17日(日)

チケット 茶券 6,000円 野点券 300円

参加者 164人、茶券売上 茶券 858,000円

野点 券 6,300円

お祝金 315,000円 合計 1,179,300円

主 旨 茶道は日本の伝統文化の一つとして、「もてな

し」と「しつらい」をもって日本的な美の世界、ぬくもりのある精神文化を生み出しています。

当館では、今回で5回目を迎え、それぞれのお流儀、先生方のご趣向を生かし、濃茶席、薄茶席、野点席、点心席を設け、茶の文化を地域に広めるため、継続事業として地元が無い大寄せ茶会を開催しました。

お茶人を通じて、新聞・テレビ等のマスコミ関係及び各市町村に当館を取り上げて広報していただき、福井県内外に当館の名のイメージアップや当館の存在を再認識させ、また、当館のお茶会ならぜひ出席したいと思っていただけることを目指し、さらに発展させていければと思います。

前回の清明茶会の反省点として、人数が多すぎて、特に濃茶席は入れる人数が決まっていることから時間的に対応できず、苦情の原因となったため、予定より茶席券の販売を抑えました。また、同日にある団体の大きな大会と重なり、特に裏千家の茶人の方の人数が少なかったこともあわせて、茶席券販売は予算額より57枚減となりました。しかし、販売枚数の減少により、点心、菓子類の仕入も減ったため、支出も減少となり、結果的には事業収支は黒字になりました。別途、入館料収入を含めると81,544円の黒字となりました。清明茶会も5回目を迎え、県外にも名が広がり、席を持ちたい社中や券購入の茶人の方を断らなければならぬほどになってきたことは、光栄なことと感じています。また、能絵師浅山澄夫画伯の個展も開催でき、好評でした。



### ④特別展「大坂加番」

会 場 4階特設会場

期 間 7月24日～10月10日 休館日なし79日間、期間中総入館者数4,824人

【特別展入館料収入】大人1,422人×500=711,000円

小人158人×200円=31,600円

図録販売 900円×40冊=36,000円

主 旨 勝山藩と大野藩は全国でも珍しいほど多く大坂加番を勤めました。なぜ奥越の隣り合う小藩が全国的にも突出するほど多くの回数勤めたのか、大坂加番とはどのような仕事なのかを、勝山・大野に残る貴重な資料から解き明かしていけたらと思い開催しました。

当館は解説用の大きなパネルから小さなキャプションに至るまですべて自作するシステムにしているため、他の館のように展示業者に何百万円も払う必要はないものの、紙代やインク代等の最低限の費用はかかります。特別展の収入は図録販売等しか見込めないで、厳しいものがありますが、その分入館者数を多く取り込める内容のあるものにしていかねばと思います。

今回は宮内庁から写真を借りるなどして、大きな写真パネルを多数作ったので、材料費がかかりました。図録も完成が遅れ、やや販売期を逸してしまった感がありました。

しかし、博物館の根幹は展示にあるので、今後も特別展示は継続していかなければと思います。

また、特別展示となるとテレビやラジオ、新聞各社が取り上げてくれるので、広告料とすれば莫大な金額が助かっていると考えられることもできます。今回も福井テレビ、NHKラジオ、福井新聞、日刊県民福井、勝山市広報に報道していただき、特にNHKラジオは催し物コーナーで何度もお知らせしていただきました。



#### ④納涼花火見物&ナイトミュージアム

会場 6階

期間 8月14日夜

【入館料収入】合計 10,500円

・入館者数 19人×500円=9,500円

5人×200円=1,000円



主 旨 花火見物は午後8時から9時まで、6・5階展望台から。展示室も観覧できるようにしました。夜見る甲冑は昼以上に不気味さを増しています。そのような切り口から甲冑や武具の美に興味をいただければと思います。

第一回の昨年は雨で一日延期となったためかまったく顔見知りばかりで一般の入館者はなかったのですが、2回目の今年は、あまり広報期間もなかったのですが、一般入館者も24人来られ、その他友の会員が11人来られるなど、総数では50人近くの方が来られました。来年はさらに広報に努めて入館者数を伸ばしたいと思います。



### ⑤永田順子創作革工芸展

会場 2階渡櫓

期間 9月17日～19日 総入館者数 377人

【収入】 合計 38,400円

①講習料 1,000円×18人=18,000円

②作品販売手数料 20,400円

【入館料収入】 63人×500円=31,500円



主旨 これまでに革工芸の極致ともいえる緻密な盆栽やコサージュ、ブローチ等の展示会をしていただき、来館者に好評であったことは、当館に対するイメージアップにもつながり、喜ばしいことでした。また、他の当館事業と同じく各地元マスコミにも報道してもらい、その宣伝効果は計り知れないものがあつたと思います。

今回は廃材となる革を粘土にして作ったブローチなどを展示し、エコロジカルな側面を持った展示会にされたとのことでした。

講習日は1日しか予定が取れなかったため、講習料・売り上げともにやや少なかつたかと思われませんが、永田先生の健康状態を考えれば致し方ないことです。ある程度の収入があつたのは根強い革工芸ファンのおかげで、感謝しております。大野・勝山にはポスターを配布し、日刊県民福井にも記事が掲載されました。

### ⑥シャトー・コンサート 2011

会場 2階障壁画ホール

期日 10月1日夜、総入館者数 75人

【収入】 合計 178,200円

チケット販売

一般 2,500円×54人=135,000円 (内入館料500円を含む)

友の会 2,000円×15人=30,000円

一般小人 2,200円×6人=13,200円



主旨 シャトー・コンサートは、平成8年に初めて当館で開かれ、以来毎年9月に開かれる恒例のものとなりました。大障壁画に囲まれて聴くクラシックコンサートは固定ファンも多く、今年は16回目の開催となりました。

### ⑦マークエステル展レセプション「彩りと調べの午餐会」

会場 2階ホール、総入館者数 38人、期日 10月8日

チケット 3,600円(内入館料500円含む)

チケット販売状況 98,400円

・一般 3,600円×17人=61,200円(内入館料は8,500円)



・友の会員 12 人優待券割引 3,100 円×12 人=37,200 円

・招待者 9 人

【収入】合計 108,070 円

・作品・書籍等販売手数料 108,070 円

主 旨 フランス人芸術家のマークエステルさんの作品展を開きました。マークエステルさんは日本神話にひかれ、多くの神社にその作品を奉納、今回は平泉寺白山神社に奉納することとなり、白山神社のすぐそばにある当博物館での作品お披露目となりました。

また、マークエステルさんを迎えて開会のレセプションも開くこととなり、ピアニストコンポーザーの Alico さんのミニライブと昼食を楽しんでいただきました。

急な展示会のため、あまり周知もできませんでしたが、それでも、大野・勝山の公共施設や飲食店及び県内各博物館・美術館に A3 判のポスター、チラシを配布しました。日刊県民福井に記事が掲載されました。

## ⑧マークエステル作品展示会

展示会場 2 階ホール

期間 10 月 8 日～10 月 16 日 総入館者数 609 人

【入館料収入】入館者数 80 人×500 円=40,000 円

## ⑨平成お天守塾第 6 回越前勝山城絵画作品展

「お城を描こう」

会場 2 階障壁面前ホール

期間 11 月 6 日（日）～11 月 27 日（日）、

総入館者数 1,000 人

勝山市わがまち魅力醸成事業助成金の対象事業

【収入】助成金 400,000 円（勝山市エコミュージアム協議会助成金）

【入館料収入】 206,740 円

大人 279 人×500 円+150 人×400 円=199,500 円

小人 25 人×200 円+14 人×160 円=7,240 円

主 旨 将来を担う子供たちの創造性、感性を育てるため、そして故多田清翁の市民に親しまれる博物館にしたいという意志を受け継ぎ、地域貢献の目的をもって始めた勝山城絵画作品展「お城を描こう」は 6 回目を迎え、徐々に県内に浸透してきました。

第 6 回は大野市、福井市、鯖江市、越前市からも例年以上に応募が増えたことで 97 点増の 770 点となり、その中から 110 点の入賞作品（応募総数の 14%）を選考いたしました。この事業は財団の負担が大きくならな



いよう勝山市エコミュージアム協議会の助成金を得ており、総事業費の 80%または 400,000 円までの助成を受けております。総事業費の 20%は当館の支出となるため、事業収支は赤字となりますが、入館料収入(受付にてチェック)とあわせ 106,739 円の黒字となりました。

応募総数が減ってきている絵画展が多くなっていると言われる中、この絵画展は応募作品が増えてきていることは大変光栄なことです。さらに広く県内外の小中学校、園に広報し、新聞・テレビ等のマスコミに広報してもらい、絵画作品展の存在を広めたいと思います。引いてはそれが入館者増に結び付けばと思います。

#### ⑩新春特別陳列 館蔵品展「源平合戦図」

会場 3階展示室の一部

期間 24年1月1日～1月22日、総入館者数 307人



【収入】合計 3,560円

・館蔵品展入館料 20円×178人=3,560円

【入館者】 大人 232人 103,450円

小人 30人 5,890円

主旨 NHK大河ドラマ「平清盛」にあわせて館蔵資料を中心に源平合戦を描いた資料を選び展示しました。

館蔵資料「源平合戦図屏風」「壇ノ浦合戦図屏風」「一の谷合戦図」

田村又左衛門家資料「屋島合戦図屏風」「源平合戦図鏝」等

## (2) 主な文化・貸館事業

### ①月例茶会の開催

会場 2階和室「蘭月の間」

期間 7回(5月から11月までの毎月第一日曜日)

23年度利用者 125人、1回平均 18人

主催 勝山市茶道連合会(荒井敏子代表)・勝山城博物館共催

茶道に親しみ博物館への理解を深めてもらうための文化活動の一環として始まった月例茶会も8年目を迎えました。

### ②ふるさとの盆踊り大会

日時 7月31日(日)午後3時から

会場 2階障壁面前

主催 実行委員会

参加者数 190人



③越前禅定道修験者マラソン大会の開・閉会式場

日 時 8月21日(日)

会 場 駐車場と2階渡櫓フロア

主 催 越前禅定道修験者マラソン実行委員会

参加者数 大人74人、スタッフ35人

その他、茶会、ピアノ教室発表会、奥越法人会会合等各種の会合に利用されています。

### (3) その他の社会教育関連業務

・勝山城友の会活動

①ステンドグラス作り講習会

5月30日(日)2階渡櫓にて、参加者数21人

②講演会を開催

「わが家あって故郷なし」講師 山範男氏(前勝山市教育委員会教育長)

6月29日(水)14時30分～15時30分

参加者数 大人29人

③春の館外研修 東北大震災により中止

秋の館外研修 10月28日(金) 富山県八尾、立山博物館、称名滝など見学  
参加者34人

④版画でつくる年賀状教室 4人参加

⑤勝山城博物館「お城を描こう絵画展」の絵画展示ボランティア

11月5日、11日、28日(延べ50人)

・館蔵資料の貸し出し

①NHK大河ドラマ特別展「江一姫たちの戦国」(福井県立美術館)に

「賤ヶ岳合戦図屏風」貸し出し 4月12日～6月9日

②愛知県新城市設楽ヶ原歴史資料館特別展「山縣昌景家と竹広火おんどり」に

「川中島合戦図屏風」右隻のみ貸し出し 7月5日～9月9日

③坂井市みくに龍翔館特別展「天下人の時代と坂井」に

「賤ヶ岳合戦図屏風」貸し出し 10月18日～11月27日

・学芸員実習生受け入れ 8月10日～17日 都留文科大学3年生一人受け入れ

・中学生職場体験「14歳の挑戦」で勝山南部中学生2人受け入れ 10月20日～21日

・勝山市さわやか大学で「川中島合戦図・賤ヶ岳合戦図屏風について」講義(杉本)

12月13日(火)勝山市教育会館3階



### 3. 理事会の開催状況

開催期日	会議の要旨	摘要
平成 23 年 6 月 27 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 22 年度事業報告書承認の件</li> <li>2 平成 22 年度収支決算書承認の件</li> <li>3 平成 23 年度収支補正予算書(案)承認の件</li> <li>4 公益財団法人移行に伴う最初の評議員の選任方法の規則(案)承認の件</li> </ol>	定例理事会会場 勝山ニューホテル
平成 24 年 3 月 19 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 理事及び監事選任の件(報告)</li> <li>2 理事長及び専務理事互選の件</li> <li>3 評議員選出の件</li> <li>4 平成 24 年度事業計画書(案)承認の件</li> <li>5 平成 24 年度収支予算書(案)承認の件</li> <li>6 最初の評議員選定委員選任の件</li> <li>7 公益財団法人への移行認定状況報告の件</li> </ol>	定例理事会会場 勝山ニューホテル

### 4. 評議員会の開催状況

開催期日	会議の要旨	摘要
平成 23 年 6 月 27 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 22 年度事業報告書承認の件</li> <li>2 平成 22 年度収支決算書承認の件</li> <li>3 平成 23 年度収支補正予算書(案)承認の件</li> <li>4 公益財団法人移行に伴う最初の評議員の選任方法の規則(案)承認の件</li> </ol>	定例評議員会会場 勝山ニューホテル
平成 24 年 3 月 19 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 理事及び監事選任の件</li> <li>2 理事長及び専務理事互選の件(報告)</li> <li>3 評議員選出の件(報告)</li> <li>4 平成 24 年度事業計画書(案)承認の件</li> <li>5 平成 24 年度収支予算書(案)承認の件</li> <li>6 最初の評議員選定委員選任の件(報告)</li> <li>7 公益財団法人への移行認定状況報告の件</li> </ol>	定例評議員会会場 勝山ニューホテル